

会議報告書

下記のとおり報告いたします。

会議名	第2回普通財産利活用検討会
日時	令和4年7月15日(木) 10時00分～11時30分
出席者	石光真委員長 天笠昌明副委員長 鈴木國人委員 坂内吉悦委員 竹内樹美委員 小野奈津子委員 【事務局】金子総務課長 渡部課長補佐 大竹管財契約係長 五十嵐主事
場所	会津美里町役場 本庁舎 2階 庁議室
協議内容	<p>1 開会 2 委員長あいさつ 3 議事</p> <p>(1) 普通財産(新布才地2番)の売却に係る公募型プロポーザルについて事務局から、別添資料3のとおり説明。以下質疑応答。</p> <p>委員 土地の売却に当たっては、面積も広大でその分価格も高額である。事前に町に対し購入を申し出ている団体などがあるのか。 事務局 購入を希望する団体からの相談は受けている。その団体を含め、幅広く購入希望者を募集するため、約2か月間の募集期間を設定した。</p> <p>委員 当該地西側の道路は先が細くなっているが、今後拡張する予定はあるか。 事務局 現時点でそういった計画は無い。</p> <p>事務局 プロポーザルの実施について、参加者が一者のみだった際の最低基準点を60点と定めたいがいかがか。 ⇒異議なし。</p> <p>(2) 旧本郷第一小学校跡地利活用基本計画策定支援業務に係る公募型プロポーザルについて、事務局から別添資料3のほか下記のとおり補足説明。</p> <p>事務局 本郷一小跡地については、売却ではなく町として利活用を進めるべくその支援を行う事業者を公募する。選定に当たっては跡地利活用案(コンセプト)も評価の対象とするが、その提案ありきの検討を行っていくわけではないことをご理解いただきたい。</p> <p>プロポーザル実施要領に対する委員からの質疑は特になし。</p> <p>事務局 以上の説明を踏まえ、プロポーザル審議会へ本検討会から委員を各2名選出したい。</p> <p>委員長 これまでの経験を踏まえ、地元の状況を把握している方に委員をお願いしたい。新布才地売却については、天笠副委員長・鈴木委員。本郷一小跡地については、竹内委員と小野委員をそれぞれ選出したいがいかがか。 ⇒異議なし。委員長選出のとおり決定。</p>

(3) 会津美里町公有財産のうち、遊休資産の現状とこれまでの取組について

委員 今後ますます人口減少や少子化が進んでいく中で、若者の住宅・職場・子育て支援の場が必ず必要となると思う。子育て支援センターや社会福祉協議会の整備を進めてもらいたい。

委員 現在の子育て支援センター（旧あやめ保育所）の方向性は？子育て世代にはありがたい施設なので、存続してほしい。

事務局 近く移転し存続させていくことは決定事項だが、施設を新築することは難しい。今後全庁的に方向性を検討していく。

委員 あやめの湯について、令和7年度に閉館となることが町LINEでも通知されているが、現在の状況は。

事務局 湧出する湯量がかつて60L/分だったのに対し、現在5L/分まで落ち込んでおり、沸かしたお湯を加水している状況である。施設も令和7年度に耐用年数を迎え、更に深くまで源泉を掘るということは難しい。

委員 あやめ荘には社会福祉協議会なども入っており、子育て支援センターの移転先としても検討してほしい。

委員 新布才地1番について、防災公園として整備するのはどうか。東京都の例だが、平時は公園として利用し、飲食店やファーマーズマーケットを運営する。有事の際は防災拠点としてヘリポートや備蓄品の収容場所として利用できる。

委員 誰でも自由に、平等に使用できる広場があると良い。

委員 旧本郷第一小学校の跡地についても、検討の際は公園というアイデアがあった。盆踊りやせと市を開催できるような多目的な広場があればと思う。

委員 本郷一小は、住宅地に囲まれ意外と分かりにくい立地にある。跡地へ至る道路も狭く、一部は住宅地として分譲するなど土地全体を公共的に活用しなくても良いのでは。

委員長 会津若松市扇町の仮設住宅跡地や中央公園は、ただの広い公園になったが、結局それが一番安心できるし必要とされているのではないか。

今回は委員の皆さまから素晴らしいアイデアを頂くことができた。

4 閉会

以上、報告いたします。